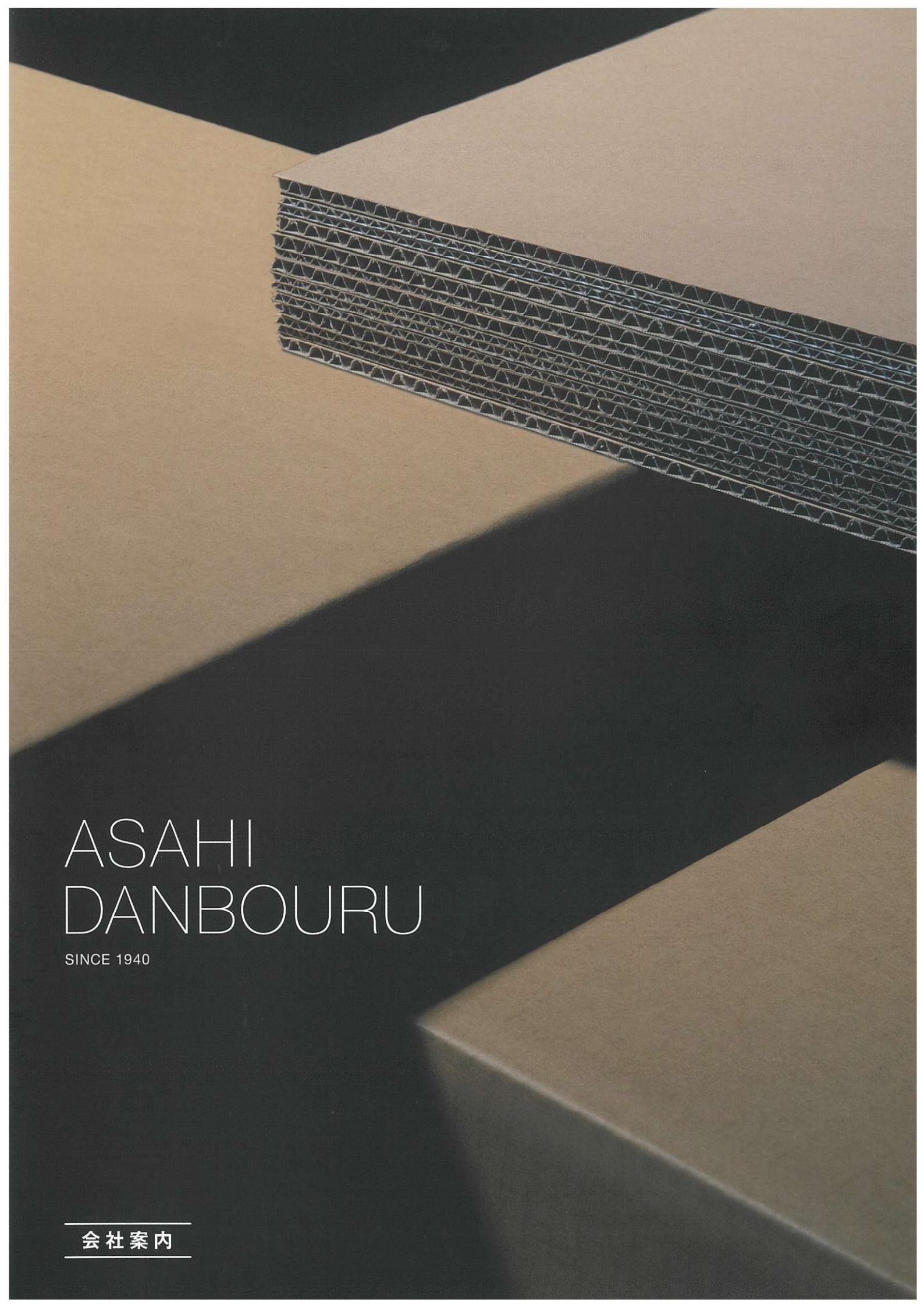




ASAHI DANBOURU

SINCE 1940

会社案内

何
度
も
生
ま
れ
変
わ
る
素
材
で、
社
会
を
つ
つ
む。

創業 1940 年の旭段ボールが歩んできた長い歴史の中で、私たちが常に重要視しつづけたビジョンは、「自然」「人」「信用」の 3 点です。

まず、「自然」について申しますと、段ボールは、もともと“木材を節約できる”製品であると認められたことから、昭和 20 年代後半から広く普及し始めました。近年リサイクルの重要性が頻繁にいわれていますが、段ボールはずっと昔から製品の 90% 以上を繰り返し活用してきました。

私たちは、この環境重視の流れにマッチした製品に、時代の感性に合った工夫を加えながら、より社会に役立てていきたいと考えています。

「人」については、改めていうまでもなく、“事業は人なり”です。一人一人が向上心を持って働けるような和の環境づくりを常に目指しています。ですから、本社員はもちろんのこと、各工場で働く人達の声にも耳を傾けながら、ともに歩いていく一体感が大切であると考えています。

そして「信用」。これは欲しいといって得られるものではありません。信頼、信用とは、誠実に約束を守る、実行しつづける者に対してのみ与えられるものであることと、常に忘れないように心掛けています。

私たちは、“段ボール包装を通じて社会に貢献する”をモットーに、時代の要請に応えるべく、今後とも、より一層努力していきます。

平成 14 年に ISO 9001、平成 17 年に ISO14001 を認証取得し、顧客満足度のさらなる向上、良い製品づくりに取り組んでいます。時代がどんなに変わっても、このモノ作りの原点を決して忘れず、全社員の力を結集して、一步一步、着実に歩んでいきます。

2040 年の 100 周年を目指して…



代表取締役
柴田 篤男

業務内容

📦 段ボール紙器製造

保護のために波状のループを織り込んだ紙に、両面とも紙を貼り合わせた製品と、片面だけを貼り合わせた製品を製造しています。

🖨️ 印刷業務

工場から店舗の倉庫などに商品を運搬する段ボールは、一般ユーザーの目に触れる機会がほとんどないので、多くはシンプルな印刷になっています。運搬に使用された段ボールの蓋の部分だけを切り取り、そのまま店舗の棚に陳列する商品を包装する段ボールの場合は、フレキソ印刷をほどこしています。

🏢 試験業務

段ボールシート、ケースに関する、各種試験を承っています。お客様に段ボール製品をより良く使用していただけるよう試験室を設置。段ボール箱の圧力強度などを測定できる試験機器を完備しています。

生産性と安全性を兼ね備えた生産システム

ASAHI DANBOURU

段ボールの製造は、まず、熱と糊を使用し、コルゲータ機で原紙を貼り合わせ、段ボールシートを作製します。
完成した段ボールシートは、お客様のニーズに合わせ、さまざまな用途に利用できる形状に加工します。



① 原紙

お客様のニーズにあった材質を選択し使用。
原紙は1t前後の重量があり、ロール状に巻かれています。



② 原紙とフルートの貼り合わせ

片面段ボールの段頂に、水溶性の糊と熱を使用。
片面段ボールにライナを貼り合わせることで、段ボールシートが完成します。



③ 断裁

貼り合わせた段ボールシートを、お客様より指定された寸法にカットし、折り曲げ用の罫線を入れます。



④ 印刷・抜き

フレキシインキを用いた印刷、打ち抜き加工を一連で行います。印刷には印版が使用され、お客様の商品名やロゴマークなどを印刷します。
【フレキシ・ダイカッター機】



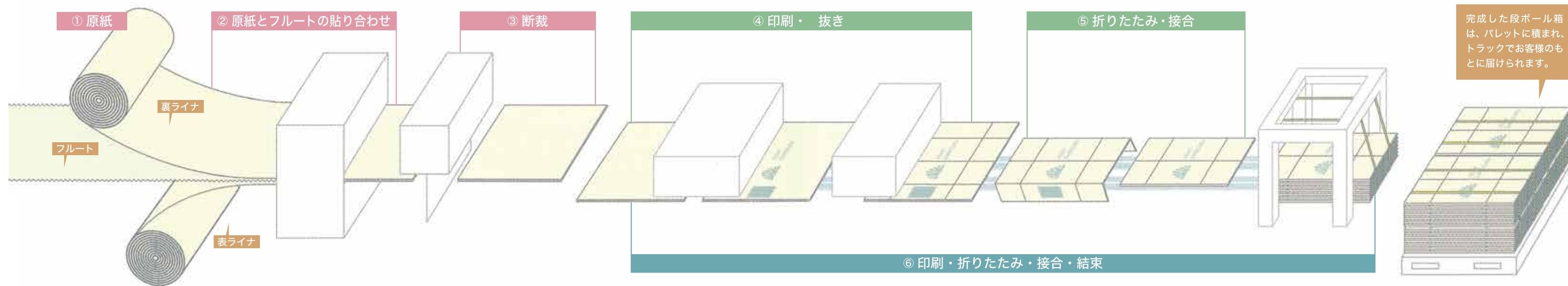
⑤ 折りたたみ・接合

打ち抜き加工された段ボールに、サイド貼りや底面貼りを施し、特殊形状の箱を製造します。
【ワンタッチグルアー機】



⑥ 印刷・折りたたみ・接合・結束

主にみかん箱形状の箱を製造。フレキシインキを用いた印刷、罫線、溝切り、接合、箱形成、結束を一行程で行います。
【フレキシ・フォルダー・グルアー機】



◆ 段ボールの種類



片面段ボール

1枚のライナに、波形に形成した中しん原紙を貼り合わせたもの。



両面段ボール

片面段ボールの段頂にライナを貼り合わせたもの。



複両面段ボール

両面段ボールの片側に、片面段ボールの段頂を貼り合わせたもの。

◆ 段ボール原紙の種類



ライナ(表裏)用一般原紙

段ボールの表裏に使用する板紙で、重さや強度によって分類されています。
【JIS P3902 段ボール用ライナ規定】



中しん用原紙

古紙が主な原料。強度を保つ強化芯などがあります。
【JIS P3904 段ボール用中しん原紙規定】



耐水性原紙

ライナ自体に耐水加工が施され、水気のある魚介・冷凍食品などの梱包用に開発されたライナ。



色つき原紙

原紙自体に色が着色された原紙。



印刷付原紙

原紙自体にプリントが施された原紙で、ビールなどの飲料用に多く使用されています。

◆ 段ボール製品



みかん箱タイプ (A 式)

段ボール製品の中で数多く使用されている形式。使い勝手がよく、機能性にも優れています。



ラップアラウンドタイプ

抜き型により、罫線・溝切りを行い、内容物を真ん中に置き折り曲げることで箱の形になります。フラップと接合部の封かんは内容物を詰める際に行います。多くは飲料の外装箱として使われます。



組仕切り

主に箱の中の内容物同士が接触し、破損を起こさないよう予防するために使用されます。



その他の緩衝材

発泡スチロールなどの緩衝材と同様に、段ボール製品でも、内容物を保護することができます。

工場紹介

ASAHI DANBOURU

ASAHI DANBOURU



◆ 岩槻工場

全国的に珍しい片面段ボールをはじめ、製造する製品は多種多様。特に製菓・食品を多く扱い、お客様のニーズにあった製品作りに取り組んでいます。

【主な設備】

コルゲート／フレキシフォルダーグルアー2台／オートブラテン／ワンタッチケースグルアー／フレキシロータリーダイカッター／サンプルカッター

【認 証】

昭和39年7月 開設
平成14年4月 ISO9001 認証取得
平成17年5月 ISO14001 認証取得

【所在地】

〒339-0011 埼玉県さいたま市岩槻区長宮 464-1
Tel: 048-799-1611 (代)
FAX: 048-799-1617



【片面段ボール】



◆ 厚木工場

大型製品の製造が可能な設備（1400×3000のFFG、1560×3150のダイカッターなど）を設置。自動車関連の製品を中心に、小さな製品から大きな製品まで、お客様の受注に合わせた段ボールを製作しています。

【主な設備】

コルゲート／フレキシフォルダーグルアー／フレキシロータリーダイカッター／フレキシソフトダイカッター／2ヘッドステッチャー／手差グルアー／サンプルカッター

【認 証】

昭和46年4月 開設
平成14年4月 ISO9001 認証取得
平成17年5月 ISO14001 認証取得

【所在地】

〒243-0425 神奈川県海老名市中野 2-17-1
Tel: 046-238-1131 (代)
FAX: 046-238-1135



【バンパー用梱包材】



会社概要

創 業 昭和15年5月1日
設 立 昭和26年4月13日
資 本 金 1 億 5000 万円
役 員 代表取締役 柴田 篤男
従 業 員 数 129 名（男性113名・女性16名）
事 業 内 容 段ボール、段ボールケース製造

事 業 所
本 社 〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町 2-13-6 MUTOH 浜町ビル
TEL.03-6661-0029 (代) FAX.03-6661-0092
岩 槻 工 場 〒339-0011 埼玉県さいたま市岩槻区長宮 464-1
TEL.048-799-1611 (代) FAX.048-799-1617
厚 木 工 場 〒243-0425 神奈川県海老名市中野 2-17-1
TEL.046-238-1131 (代) FAX.046-238-1135

沿 革

昭和15年 5月（1940年） 東京都品川区に旭紙器工業株式会社を創立し、外装、内装段ボールおよび段ボールケースの製造を開始

昭和26年 4月（1951年） 本社・工場を東京都大田区に移転し、社名を旭段ボール株式会社に改称

昭和36年10月（1961年） 鶴見工場を開設

昭和37年 6月（1962年） 酒田工場を開設（現・東北旭段ボール株式会社として分離）

昭和39年 7月（1964年） 岩槻工場（埼玉県さいたま市岩槻区）を開設

昭和46年 4月（1971年） 厚木工場（神奈川県海老名市）を開設

昭和46年 8月（1971年） 資本金を 1 億 5,000 万円に増資

平成 8 年 8月（1996年） 本社・工場の狭隘化により、岩槻・厚木両工場に生産を移管

平成13年 5月（2001年） 鶴見工場より岩槻工場に生産を移管（鶴見工場は閉鎖）

平成14年 4月（2002年） ISO9001 を認証取得（本社、岩槻工場、厚木工場）

平成17年 5月（2005年） ISO14001 を認証取得（本社、岩槻工場、厚木工場）

平成30年 7月（2018年） ダイナパック株式会社が当社株式を取得したことにより、同社の完全子会社となる

令和 6 年 7月（2024年） 100%子会社の城西パック株式会社を統合し、城西物流センターとする



旭段ボール株式会社

〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町2-13-6MUTOH浜町ビル4階
Tel: 03-6661-0029(代) Fax: 03-6661-0092